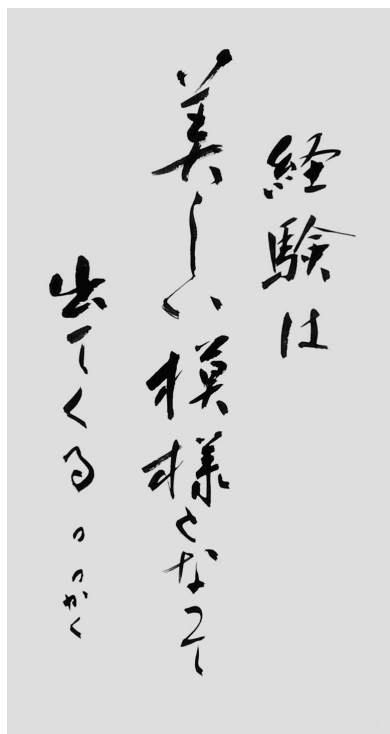


二科・三科参考手本

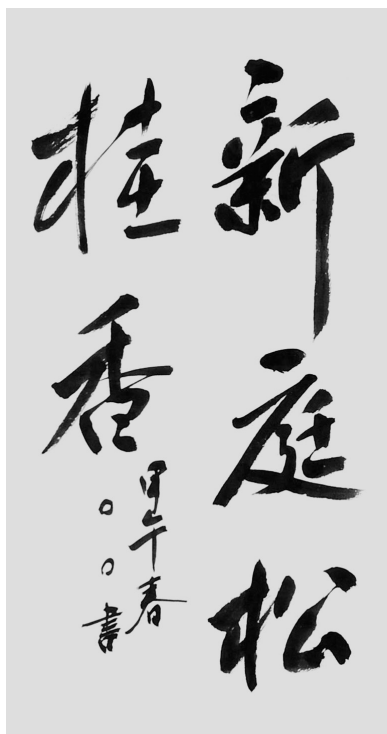
▶二科・三科は、半切2分の1のサイズです。課題は自由ですが、下掲の参考手本によりご出品いただくこともできます。

経験は美しい模様となって出てくる



萩田蒼仙書

新庭松桂香
しんていしょうけいこうばし



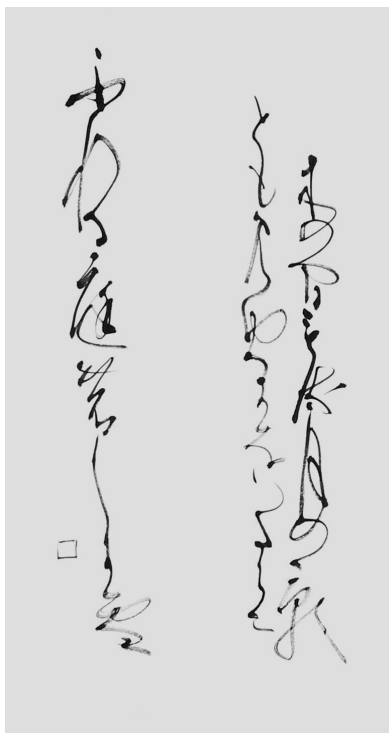
萩田蒼仙書

瑞色鮮
ずいしよくあざやかなり



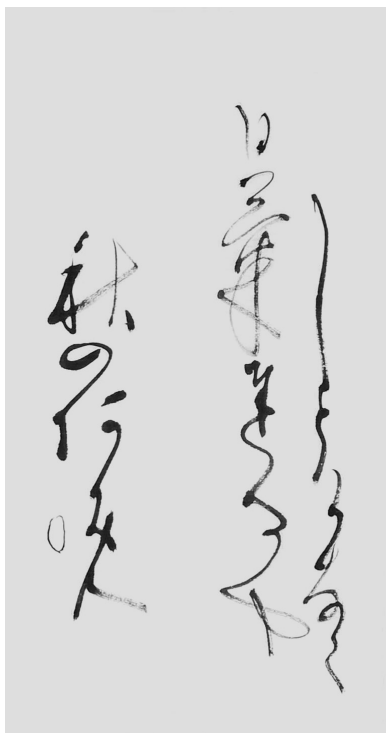
萩田蒼仙書

木の間もる月の影とも見ゆるかなはだらにふれる庭の白雪
毛流 可奈 八多二 農しら
(山家集)



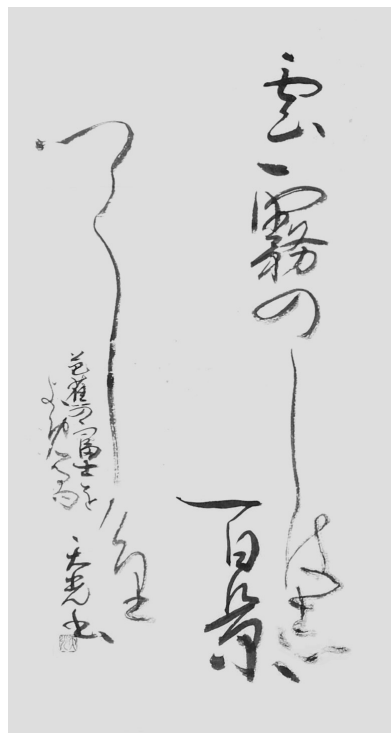
築瀬舟香書

しどけなく白菊散るや秋の雨
介奈 選 阿免
(芥川龍之介)



築瀬舟香書

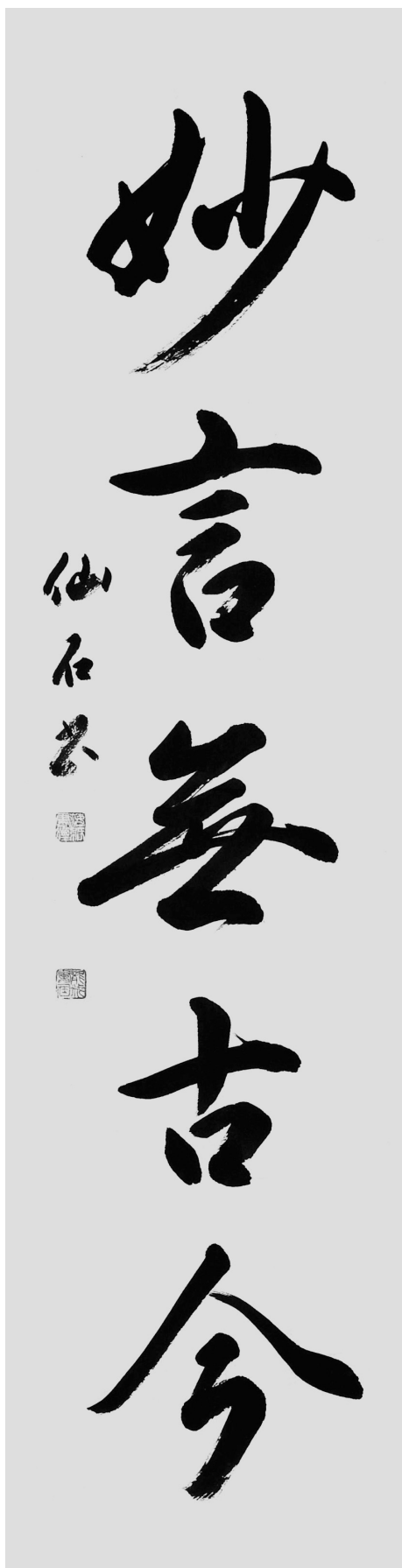
雲霧のしばし百景つくしけり
志 介里
芭蕉の富士をよめる句
免



飯沼天光書

半切四分の一に書く(1)

締切り 一月二十五日(必着)



神谷 葵水 先生 書

◎本誌に条幅(半切)の課題が正式に設置されたのは、平成十一年七月のこと、その前の約八年間は、半切への足がかりとして半切四分の一のサイズ(約六八cm×一七、五cm)で条幅の基礎を学んでまいりました。

◎このコーナーでは、元愛知教育大学名誉教授・神谷葵水先生の当時のお手本をもとに、改めて条幅の基礎を学びます。

◎条幅は苦手という方、大きい作品に気後れしている方は、この機会にぜひ、条幅の草稿作りのつもりで気軽に取り組んでみましょう。

〔読み〕妙言無古今みょうげんむここんなし

〔大意〕微妙なる言語に今とか古との区別はない、名言はいつも名言である。

〔解説〕

・用紙に五文字をバランスよく収めることが大切です。行の中心、字間、天地のあき等に注意しましょう。紙を折る、下敷の罫を利用する等の方法もあります。

・お手本をよくみると、各字の大小の違いがあることがわかります。潤渇も考えてみましょう。その方が動きやリズムが出て、表現力が豊かになります。

・できる方は、書体や崩し方を変換してオリジナルな作品に挑戦して下さい。その際、字典でしっかり調べるのが肝要です。

・落款(署名・印)も作品の一部です。丁寧に収めましょう。

〔作品の出し方〕

▼毛筆部Ⅱ条幅半切四分の一(約六八cm×一七、五cm)に書いて下さい。

▼硬筆部ⅡB5判(二五七mm×一八二mm)以下の紙に課題手本のような枠線を引いて下さい。用具は自由ですが、細い線は相応しくありません。(フエルトペン・筆ペン可)

▼出品制限の対象とはしませんので、どなたでも出品できます。ただし出品は硬・毛のどちらか一方に限ります。

▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・毛筆漢字の成績(硬筆の場合は硬筆規定の成績)を、作品余白にお書き下さい。

▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

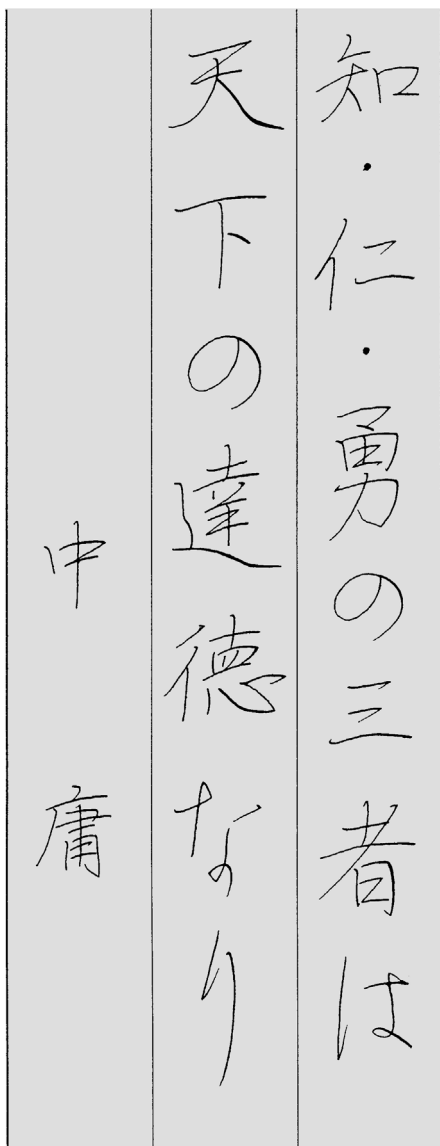
準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕



▶教範・書範は右課題を「楷書」で、師範は「行草または草書」で出書して下さい。
◎日頃教範・書範の審査をしていると、毎月指定の課題・書体で出品することと示されているが、それを無視した出品がある。上手な方でも課題違いとして、成績は下位になるので注意して下さい。

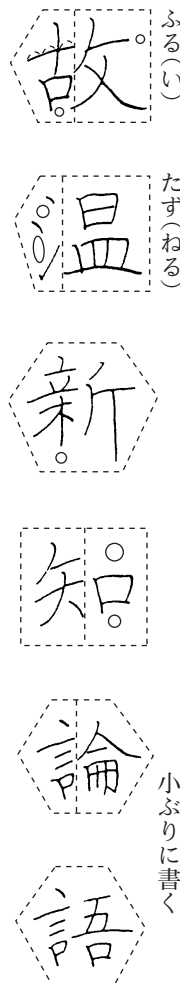


おか だ りゅう ほう 書
岡 田 龍 芳 書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会段位用紙

〔解説〕



おお たに せい じょう 書
大 谷 清 城 書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

◆2月課題予告（行草または草書）
桃李は一旦の栄華なり
松樹は千年の貞木なり
十訓抄
▼教範・書範＝楷書
▼師範＝楷書

★知・仁・（書体＝行書）
「中庸」儒教の経書、四書の一つ。
「達徳」とは、徳の中の徳。とりわけ重要な徳を意味します。
知とは、深い読みのできる能力、ものごとを適切に処理できる能力をいい、仁は相手の立場に立って考える思いやり、勇は勇気で、決断力を示します。
この三つの徳があれば、豊かな人生を築くことができるでしょう。

◆2月課題予告（行書）
行いの美しい者は
姿も麗わしい
英国の諺
ことわざ

★故きを：（書体＝楷書）
「論語」孔子（前五、四七九）の言行録、儒教の経典。四書五経の一つ。
故いものに頼ってばかりでは、新鮮みに欠けたり飛躍が望めません。かといって新しさを追うばかりでは軽薄になりかねません。過去の経験や先人の学説などを学びとりつつ、新しい意義や考えを見つけ出すこと。双方かね合わせることが大切なのです。

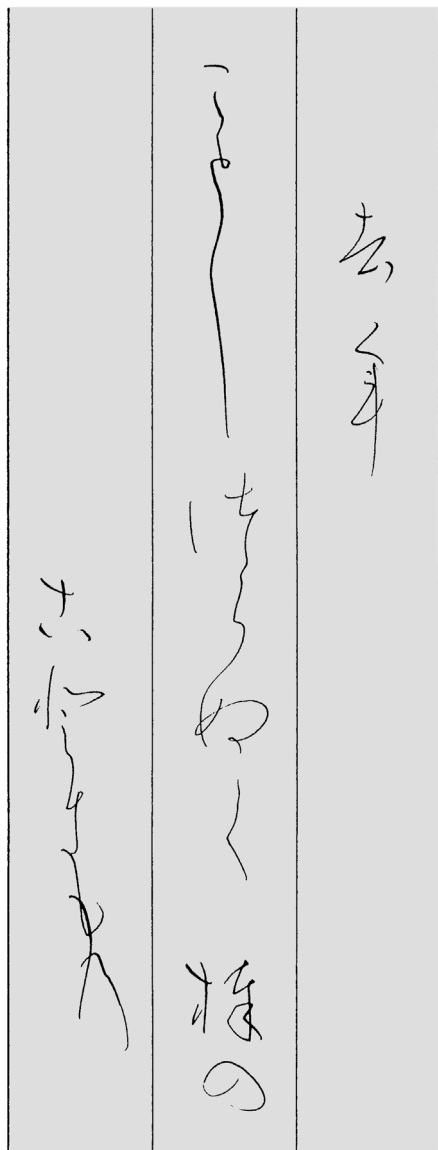
一般部かな課題

締切り 1月25日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

去年今年ことし貫ぬく棒この如ごときもの文

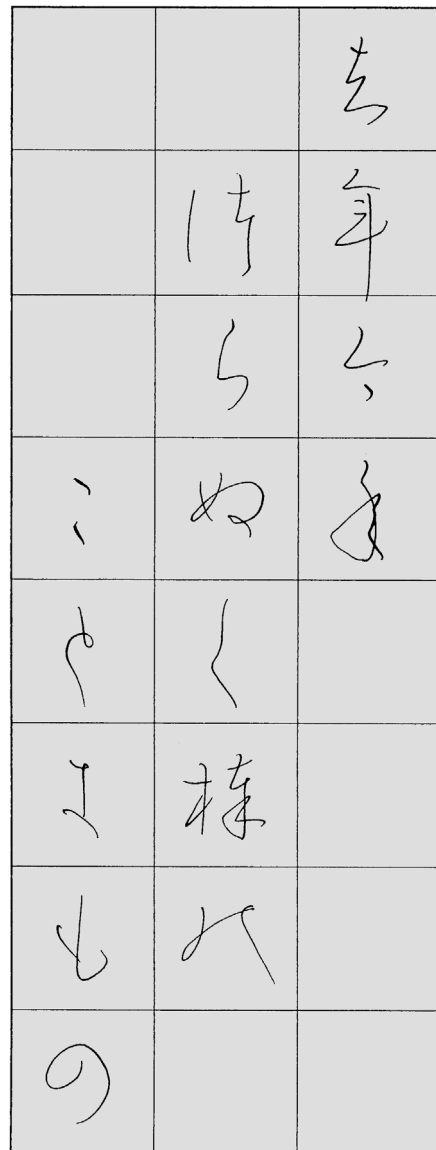


おお みや しゅん ちょう 書
大 宮 春 兆

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会段位用紙

去年今年ことし貫ぬく棒この如ごときもの文



おお みや しゅん ちょう 書
大 宮 春 兆

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。

◆2月課題予告

みちのくの町まちはいぶせき氷柱つららかな

(山口青邨)

乃の 支し 登と 古こ 能の 徒つ
乃乃乃乃 支支支支 登登登登 古古古古 能能能能 徒徒徒徒

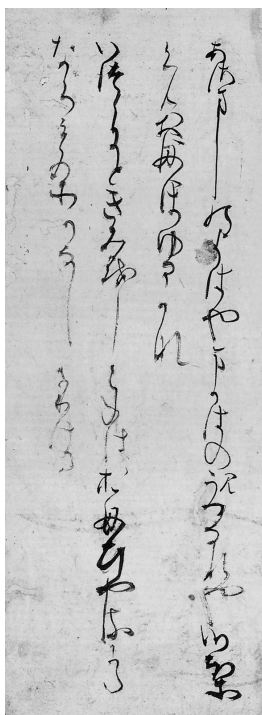
〔古筆参考〕

去年今年貫く棒の如きもの
〔句意〕慌あわただしく年が去り、新たな年を迎えて、世間には清新の気がみなぎっている。しかし、年が改まって、自分の去年と今年とは何ら変わることがない。ただ一本の棒が貫くような、淡々とした日々があるだけである。

(高浜虚子)

〔古筆参考〕

いずみしきぶぞくしゅうぎれ
和泉式部続集切

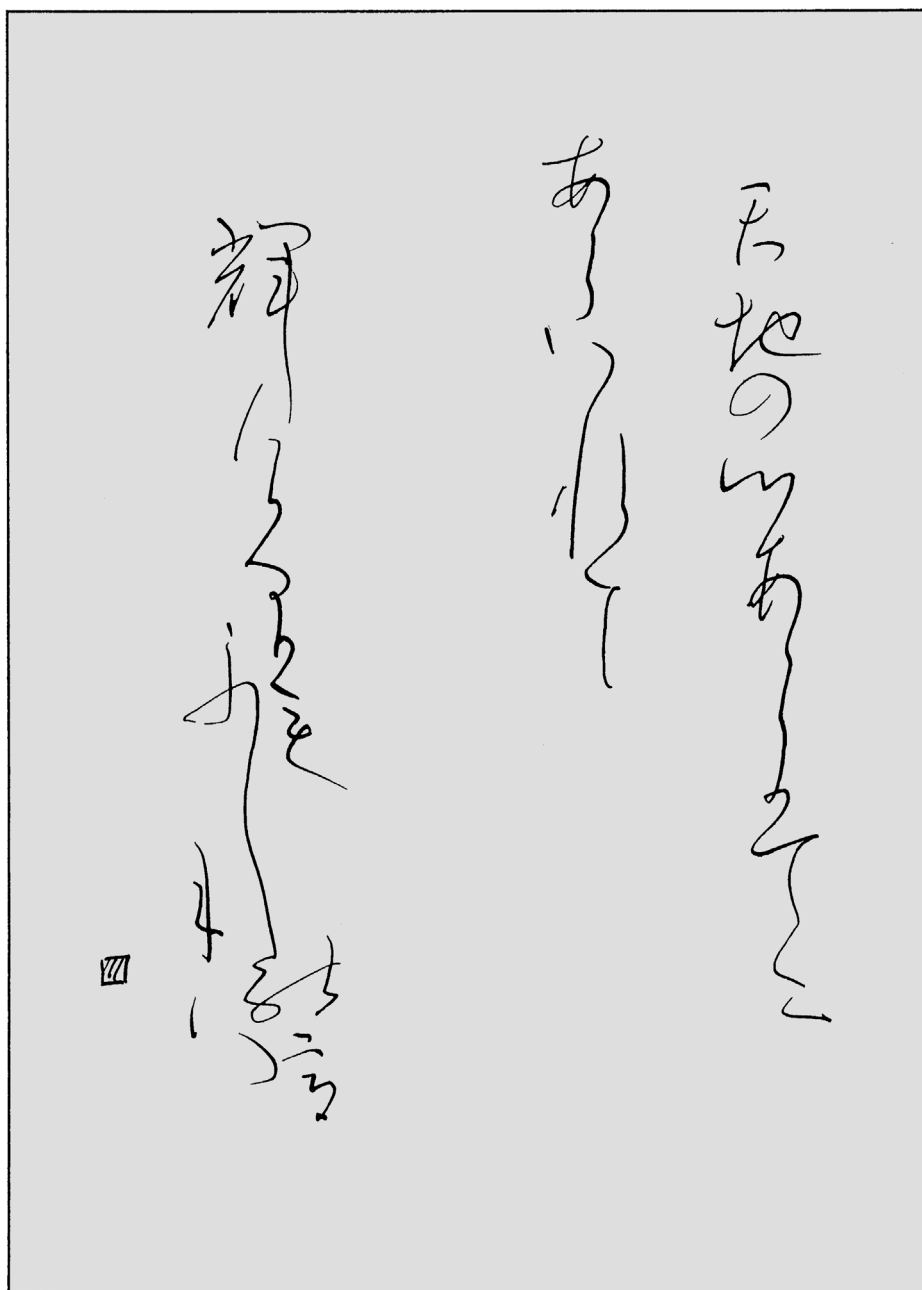


あさましのよはやまかはのうづなれや心ぼそ
くもおもほゆるかな
いつくにときみをしねばおもひやるかた
なくものぞかなしかりける

佐万能 万可 奈 本所
徒 尔 越 年 於 母 流 可 多
毛 所 可 奈 可 利
くもおもほゆるかな

締切り 一月二十五日(必着)

築瀬舟香書



「はじめに」
また新しい年が巡ってまいりました。今年も宜敷くお願い申し上げます。お手本揮毫も十年が過ぎ十一年目となり代わりばえのしない頁となりそうですが、楽しみながら創作してまいりたいと思います。本年度は古筆「和泉式部続集切」を元に創作しました。

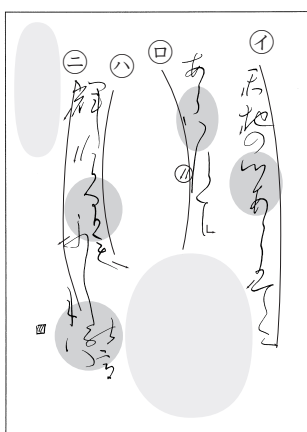
あめつちのころあらはに
あらはれて 輝けるかも富士の高嶺は

天 地 心 盤二
介 可 毛 ふ じ 能
年 八

〔歌意〕この天地をふくむおおいなる宇宙のところが、はっきりと目に見えて輝いているのだ。あの富士の高嶺は。

〔出典〕名歌即訳 若山牧水

〔解説〕



- ①と②、①と③、④と⑤、④と⑥、④と⑦、それぞれ呼応。
- 行の中の密の動き。(行の高まり)
- 作品の中の間、大切。
- の方向大切。(間をしめる役割)

◆2月課題予告

夕空の風をしぞおもふ火の山のけむりは遠くうちながれたり

締切り 1月25日(必着)

ご無沙汰しています。近頃の通信手段は、携帯電話のメールばかり。おまけにボタン一つで文章も検索出来て、日本語を忘れそうです。これではと思いペンを執りました。字は下手でも心込めて送ります。

ご無沙汰しています。近頃の通信手段は、携帯電話のメールばかり。おまけにボタン一つで文章も検索出来て、日本語を忘れそうです。これではと思いペンを執りました。字は下手でも心込めて送ります。

作品の出し方

- 新人から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横 書 き 課 題

おか しま けい せん
岡 嶋 桂 川 書

良寛は江戸末期の禅僧で、書や詩文、純朴な人からで知られる。

和歌山県海南市 氏 名

※手本は、つけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 1月25日（必着）



篤 孝 治 之 誠 彌

準初段から師範まで

奥村暢之臨

〔出典〕孔子廟堂碑（626～633）〔筆者〕虞世南（558～638）

〔読み〕誠は弥いよ篤し。孝治の

松 静 白 鶴 眠

新入から1級まで（楷書）

荻田蒼仙書

〔読み〕松 静 白 鶴 眠
まつはずかにしてはっかくねむる

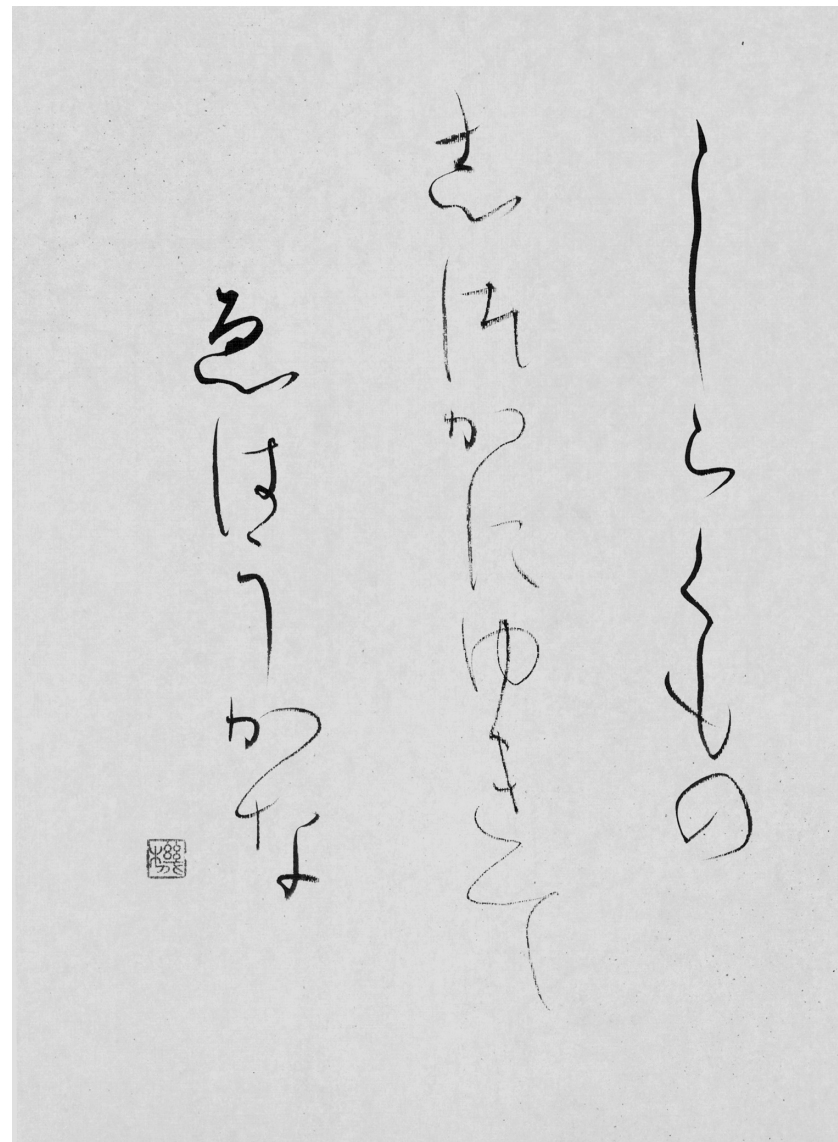
〔大意〕松・鶴、新年に相應しいことば。

一般部毛筆かな課題

締切り 1月25日（必着）

新入から1級まで

浅井機山先生書

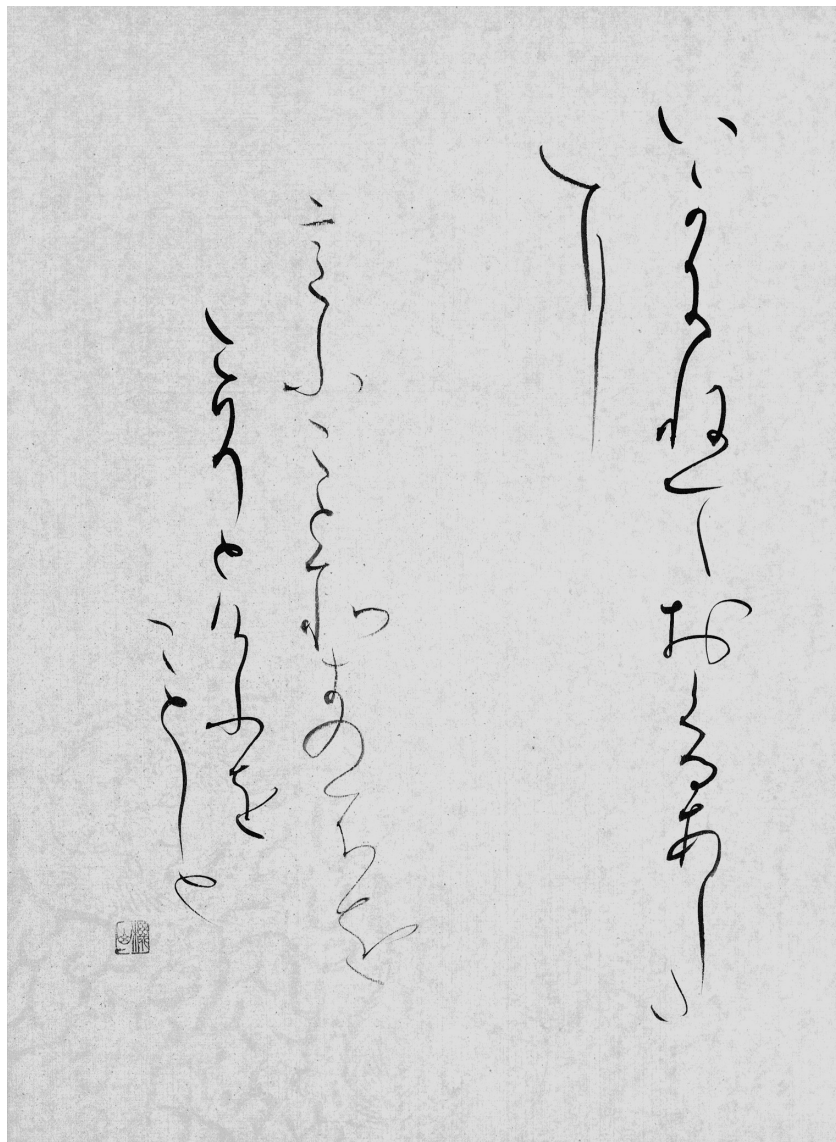


〔出典〕村上鬼城

〔句意〕「恵方」はその年の干支に基づいて定めた吉祥の方位。元旦の吟。恵方に流れる白い雲に、祈りをこめてこの年の吉相を見ている句。

準初段から師範まで

■ 両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。
白雲のしづかにゆきて恵方かな

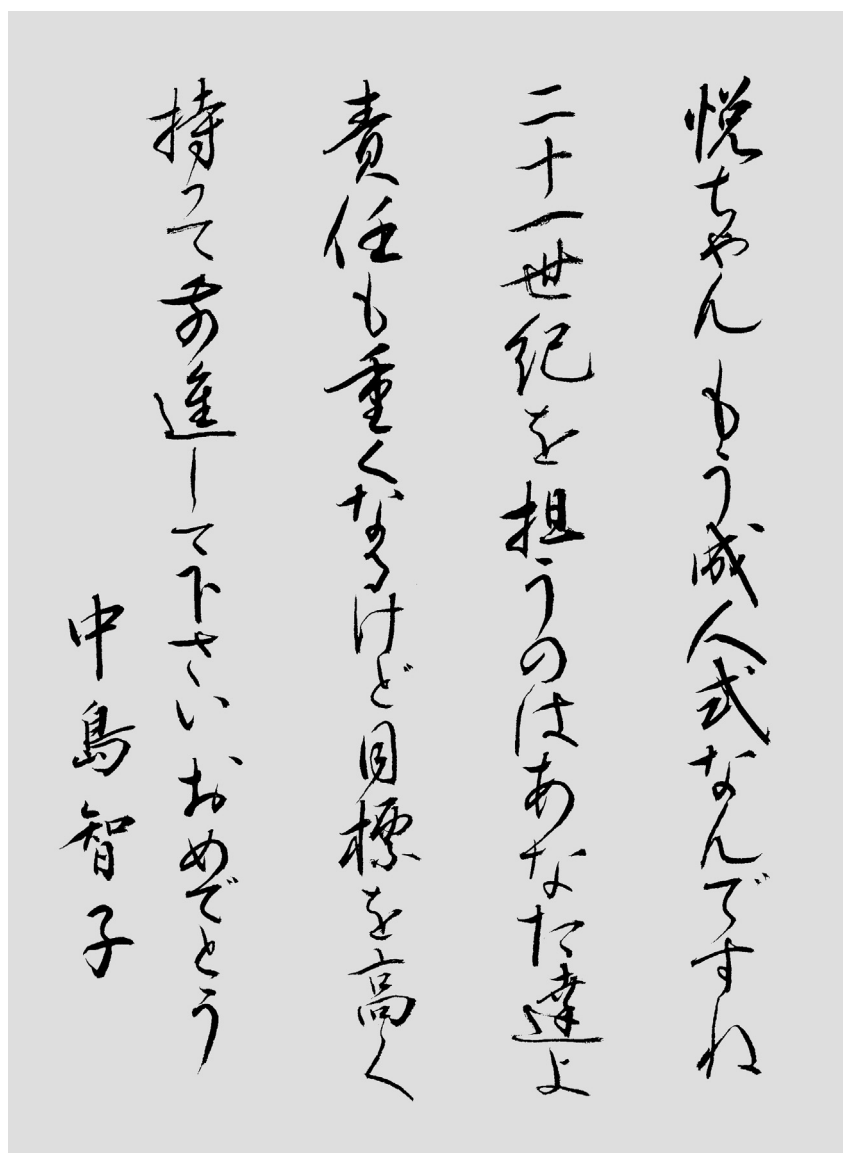


〔出典〕小大君

〔歌意〕昨日は去年で今日は今年などというのは、どんなにたくさん寝て起きた朝にいうことかと思うが、たった一夜しか寝ていないのだ。

いかねて起くる朝にいふことぞ
支の不こ曾介ことし
昨日を去年とけふを今年と

一般部毛筆細字課題



半紙 (334mm × 240mm)

悦ちゃんもう成人式なんですわ
二十一世紀を担うのはあなた達よ
責任も重くなるけど目標を高く
持って前進して下さいおめでとう
中島智子

一般部毛筆条幅課題



締切り 一月二十五日(必着)

半切 (一三六cm × 三五cm)

荻田蒼仙書

- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。
- 成績(天位〜5等)は、評価により毎月変わります。
- 新人から師範まで、どなたでも出書できます。
- 印で墨つぎしました。
- 〔条幅・細字作品の出し方〕
- ・印で墨つぎしました。
- 〔条幅・細字作品の出し方〕
- 新人から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績(天位〜5等)は、評価により毎月変わります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

〔条幅解説〕

形を真似る……初段階は、これに徹する。上位になると線に向けて勉強すること。線の美しさは無限です。書の価値は線です。筆をどのように使えば、どんな線が……。その為には書きぶりを見ることが大切です。古典でも形も大事ですが心を学ぶこと。心は線に表れます。

悦ちゃんもう成人式なんですわ

二十一世紀を担うのはあなた達よ

責任も重くなるけど目標を高く

持って前進して下さいおめでとう

(ご自分の氏名)

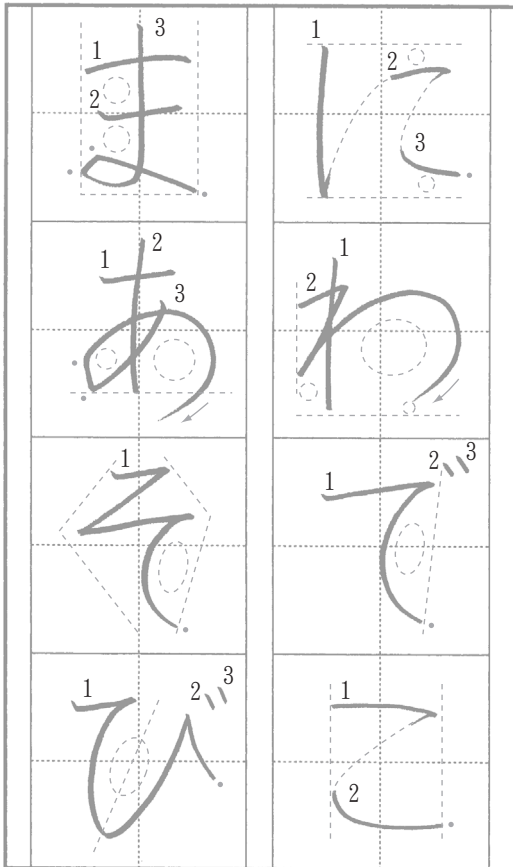
連山桃李開
甲午春

甲午春

〔大意〕新春の山々に
桃や李の花が美しく開
くというめでたい語。
初出品の方へ

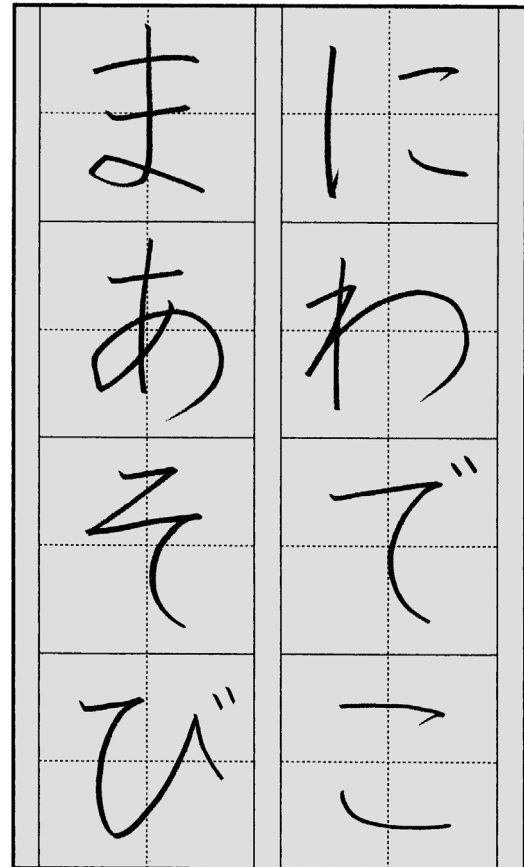
支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)



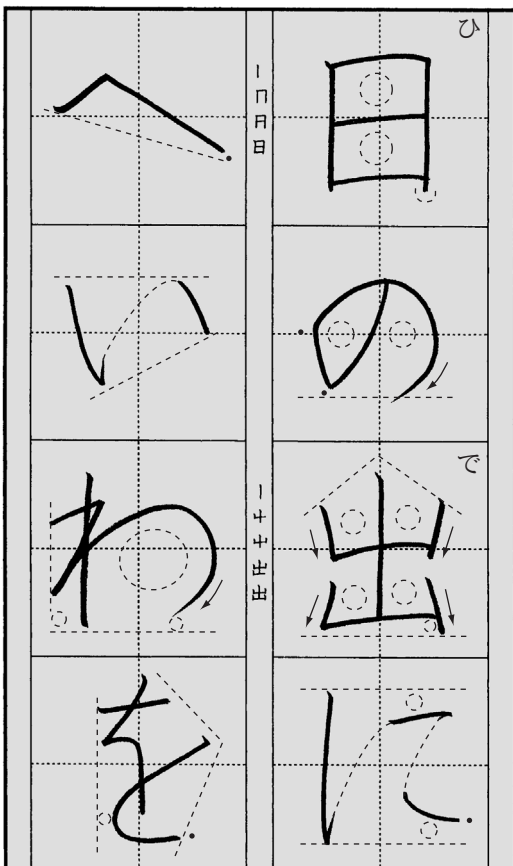
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



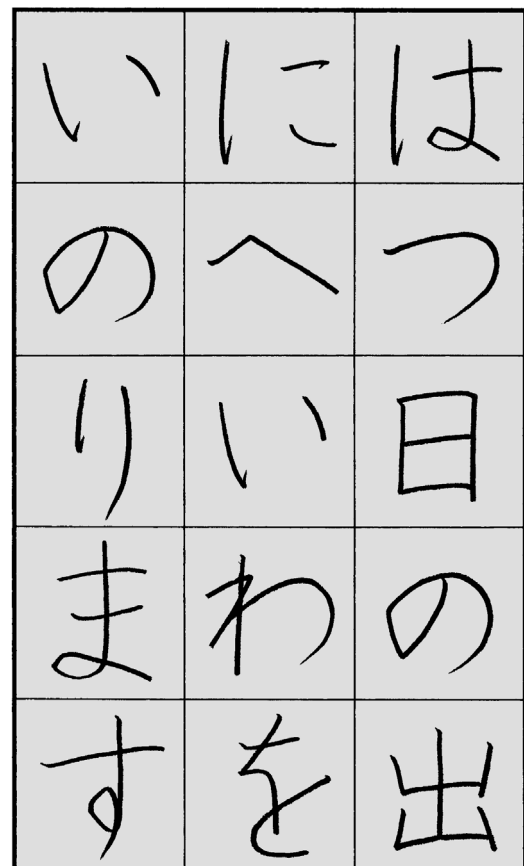
よ
う
年

幼年〜小三年
三宅容玉書



新入〜1級

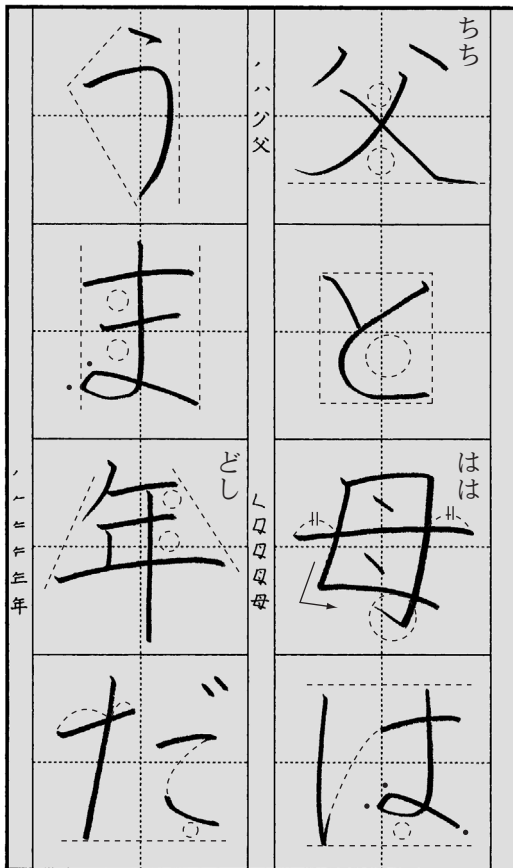
(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小
一
年

準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかざる)

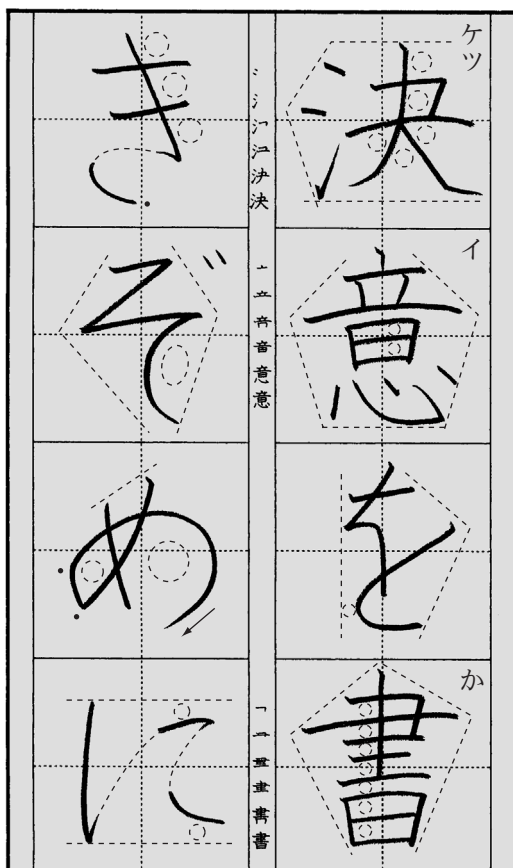


新入1級

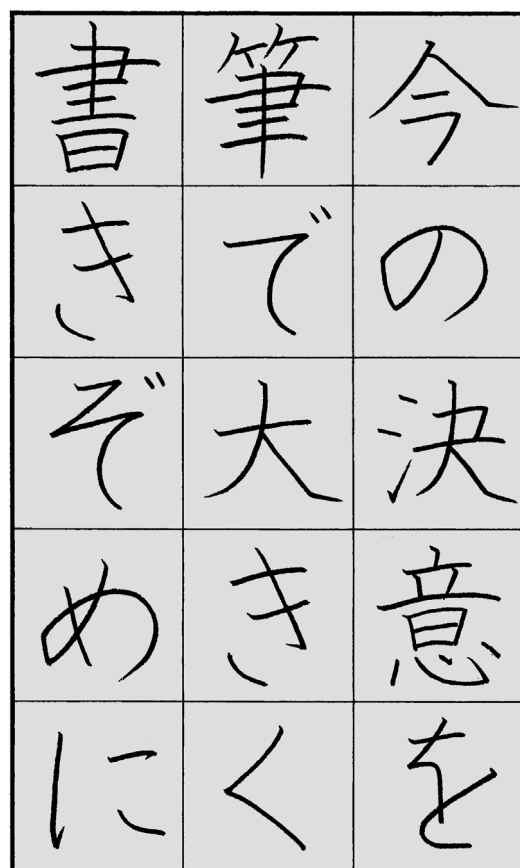


小二年

準初段以上



新入1級



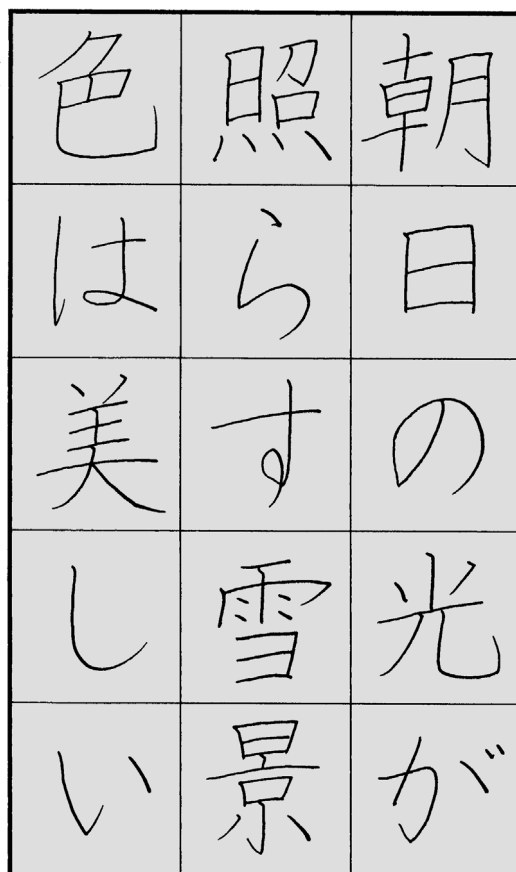
小三年

準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

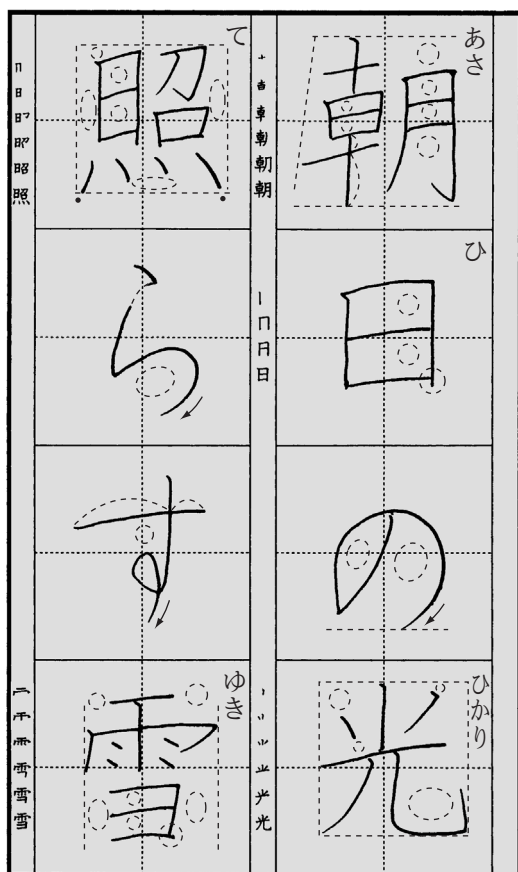
小四年

準初段以上



※景色＝単語としてこのように読みます。

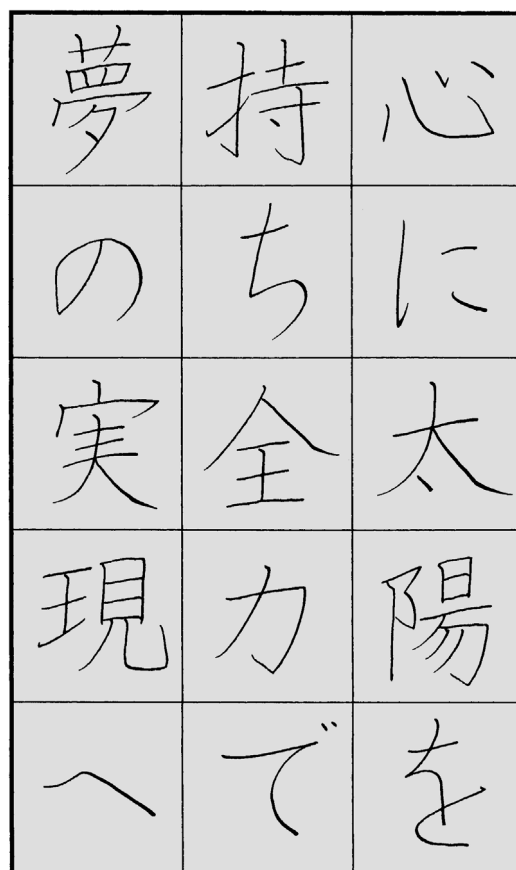
新入1級



〈用具〉自由(黒色に限る)

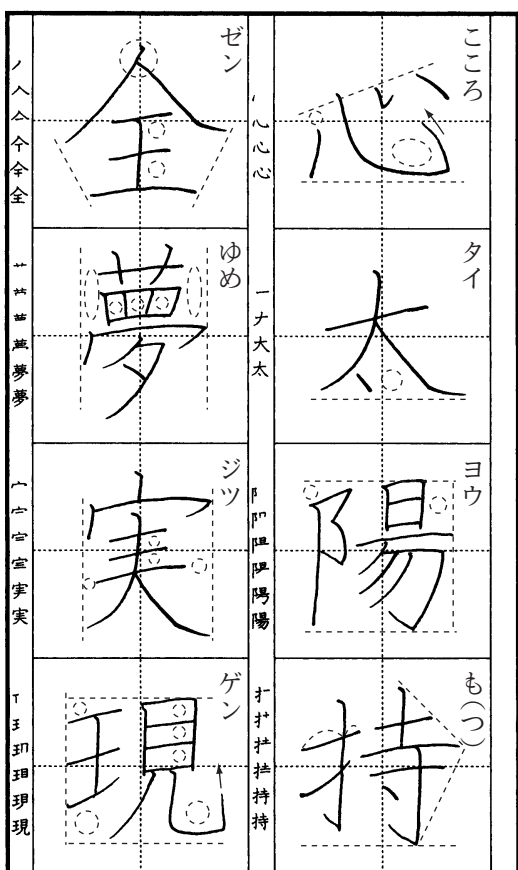
小五年

(全員)



小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

解説(よく見て習いましょう)



小四以上 須田一葉書

小六年

の	全	常
優	を	に
し	願	家
い	う	内
姿	母	安

(全員)

解説(よく見て習いましょう)

願	常
母	家
優	内
次女	安

〈ようぐ〉自由(黒色に限る)

中一年 (楷書)

立	を	自
ち	強	分
向	く	の
か	持	意
う	ち	志

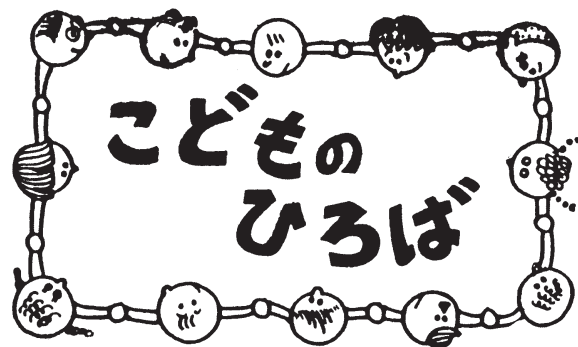
中二・三年 (行書)

知	読	様
識	み	々
を	豊	な
養	か	本
う	な	を

▼小三年以下の課題 しば 柴 た 田 とう 桃 か 花 書

見	今	何	み	神
せ	年	が	ん	社
合	の	出	な	の
っ	運	た	で	お
た	せ	か	引	み
	い	な	い	く
			た	じ

◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 1月25日(必着)

習っていない漢字は、
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 まえ 前 そわ 岨 ぎょく 玉 か 華 書

合	お	学	向	試
格	守	業	か	験
い	り	成	う	会
の	わ	就	兄	場
る	た	の	に	へ
	し			

◎お手本はつけペン使用



◇作品の出し方

- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。



小 二 年

小 一 年

よ う 年

小
二
う
ま
年

たま き しょう か
玉 樹 小 華 書

小
へ
い
わ

たま き しょう か
玉 樹 小 華 書

さ
い
こ
ま

たま き しょう か
玉 樹 小 華 書

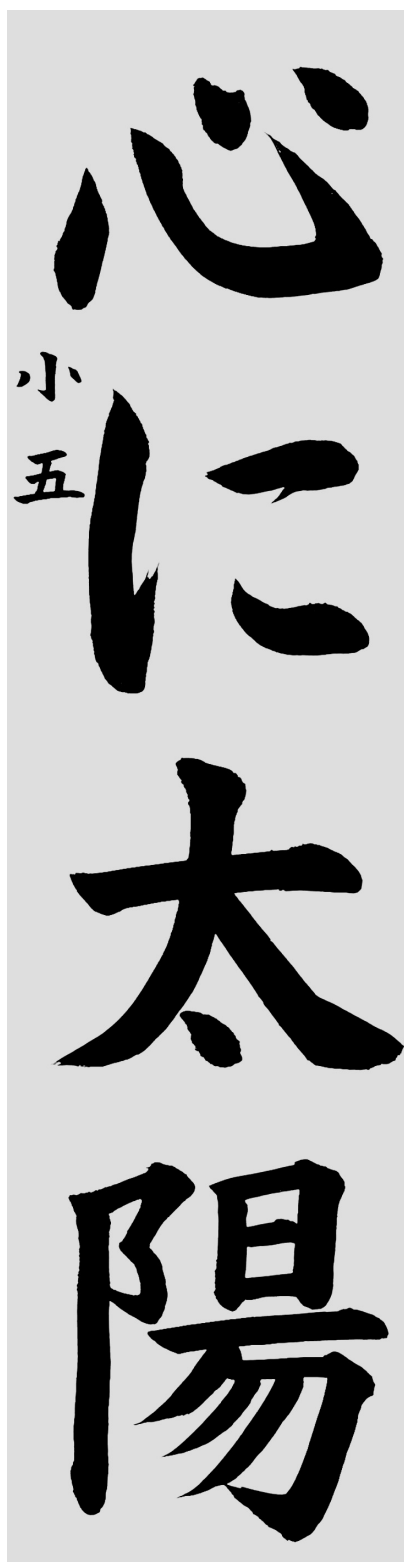
注：コンクール作品は月例競書と兼ねる事ができません。
両方に出品される方は、二枚お送り下さい。

◆ 1月締切りの課題は、「全国書道コンクール」に合わせて、半切4分の1
(68cm×17.5cm)に書くか、いつものように半紙に書いてもよろしい。

小 五 年

小 四 年

小 三 年



みず の こう ちく
水 野 香 竹 書



みず の こう ちく
水 野 香 竹 書



みず の こう ちく
水 野 香 竹 書

注…コンクール作品は月例競書と兼ねる事ができません。
両方に出品される方は、二枚お送り下さい。

◆ 1月締切りの課題は、「全国書道コンクール」に合わせて、半切4分の1
(68cm×17.5cm)に書くか、いつものように半紙に書いてもよろしい。

中二・三年

中 一 年

小 六 年

豊かな知識

中二・三

おく むら のぶ ゆき
奥村 暢之 書

意志を強く

中一

おく むら のぶ ゆき
奥村 暢之 書

家内安全

小六

おく むら のぶ ゆき
奥村 暢之 書

注：コンクール作品は月例競書と兼ねる事ができません。
両方に出品される方は、二枚お送り下さい。

◆ 1月締切りの課題は、「全国書道コンクール」に合わせて、半切4分の1
(68cm×17.5cm)に書くか、いつものように半紙に書いてもよろしい。